

昭和 60 年度 事業 計画 書 (案)

(自昭和 60 年 4 月 1 日・至昭和 61 年 3 月 31 日)

1. 会 員

項目	種 別	正 員	准 員	学 生 員	事業維持員	合 計
59 年度末会員数 (予定)		20,853	1,331	555	540 (3,310口)	23,279
入 会・復 活 予 定		+ 800	+ 250	+ 400	+17 (+50口)	+ 1,467
種別変更	准→正	+ 630	- 630	—	—	0
	学→准	—	+ 330	- 330	—	0
退 会・死 亡 予 定		- 830	- 80	- 25	- 5 (-10口)	- 940
除 籍 予 定		- 340	- 30	- 2	0	- 372
増 減		+ 260	- 160	+ 43	+12 (+40口)	+ 155
60 年度末会員数 (予定)		21,113	1,171	598	552 (3,350口)	23,434

2. 功績者の表彰

功 績 賞	1 件
電 力 賞	2 件
電気学術振興賞	
進 歩 賞	6 件
論 文 賞	6 件
著 作 賞	1 件

(3) 英文論文誌

年間ページ数 192 ページ (隔月平均 32 ページ)
年間発行部数 3,000 部 (隔月平均 500 部)

(4) 広 告

年間掲載予定 雑誌 504 ページ 論文誌 48 ページ
英文誌 9 ページ

(5) 会 合

(i) 雑誌編修

編修企画委員会

本委員会: 3 回

分科会: 2 回

幹事会: 9 回

(ii) 論文誌編修

論文委員会 (42 名): 毎月 1 回

〔その他査読委員 266 名〕

(iii) 学界時報, ニュース編修

各委員会: 毎月 1 回

(iv) 広告編修

広告改善委員会: 4 回

(内 1 回は見学会を兼ねる)

5. 改善委員会 4 回

6. 創立 100 周年記念事業企画委員会 4 回

7. 出 版

(1) 電気工学ハンドブック

(2) 技術報告発行 22 点

(3) 単行本 1 点

(4) JEC 発行 3 点

8. 電気規格調査会

(1) 委員会の開催回数

(1) 昭和 60 年全国大会

昭和 60 年 4 月 2 日 (水)~5 日 (金): 名古屋大学に
おいて開催

(別途独立会計: 現地に実行委員会設置)

(2) 昭和 60 年電気・情報関連学会連合大会

電気四学会連合大会は, 昭和 60 年より情報処理学
会の加盟により標記の名称となります。

昭和 60 年 9 月 13 日 (金)~15 日 (日): 東北工業大
学において開催

(別途独立会計: 事務担当は電子通信学会)

4. 雑誌・論文誌

(1) 雑 誌

年間ページ数 2,112 ページ (月平均 176 ページ)

〔特集 2 回 (5 月号, 11 月号), 小特集 8 回〕

年間発行部数 282,000 部 (月平均 23,500 部)

(2) 論文誌

年間ページ数 1,992 ページ (月平均 166 ページ)

年間発行部数 合計 296,800 部

A 分冊 67,200 部 (月平均 5,600 部)

B 分冊 147,600 部 (月平均 12,300 部)

C 分冊 82,800 部 (月平均 6,900 部)

規格委員会	6回(うち、1回は地方開催)
常置委員会	14回
標準特別委員会	200回(小委員会、幹事会を含む)
IEC国内委員会	80回
合計	300回

(2) 委員会の新設・解散

新設	3委員会
解散	3委員会

(3) 標準規格の制定・改訂 5件

(ただし、60年度に原案を作成する件数は6件とする。)

9. 調査研究委員会

(1) 委員会の開催数

運営委員会	4回
技術委員会	160回
専門委員会	780回(小委員会、幹事会を含む)
研究会	162回
合計	1,106回

(注)研究会の開催回数160回のうち、30回は電子通信学会との合同設置の研究会の開催回数である。従って本会の開催回数は132回で、発表論文数は1,475件を予定している。

なお、研究会の地方開催については、49回で日数的には71日が予想される。

(2) 委員会の新設・解散

新設	39委員会
解散	31委員会

10. 国際会議・シンポジウム等の開催

(1) 国際会議

・磁気浮上鉄道国際会議(60.9 東京)

(2) シンポジウム

・第5回センサの基礎と応用シンポジウム

(60.5 筑波)

・第18回電気絶縁材料シンポジウム

(60.9 東京)

・第15回電気絶縁材料に関する若手セミナー

(60.9 未定)

・第15回EMシンポジウム(61.3 東京)

・第7回ドライプロセスシンポジウム

(60.10 東京)

(注):東京支部と共催で開催するもの、あるいは当会が事務を引き受けられないものは削除した。

11. 桜井資金による国際会議への派遣(2~3名)

12. 通信教育会

(1) 通信教育事業

a. 引続き、大学講座・高校講座の通信教育を実施する。

入学者を450名と見込む。

b. 60年度に技術講座「電子回路」を開講する。技術講座の入学者を100名と見込む。

(2) 図書出版事業

a. 引続き、新刊出版企画(新シリーズ計画教科書の刊行)を推進する。

当年度少なくとも6点の刊行を計画する。

b. 既刊図書のうち陳腐化したものの改訂を適時実施する。

c. 一般図書94,000部の売上収入を見込む。

13. その他

(1) 各種団体の研究助成候補者の推薦

(2) 学術団体の講演会等の共催・協賛・後援

昭和 60 年度 予 算 (案)

収 入 の 部 (単位:千円)

科 目	公 益 会 計	収 益 会 計	合 計
会 費 収 入	87,720	143,380	231,100
正 員 会 費	30,020	127,980	158,000
准 員 会 費	0	4,200	4,200
学 生 員 会 費	0	1,000	1,000
入 会 金	700	0	700
終身会費取らずし金	0	200	200
維 持 員 会 費	57,000	10,000	67,000
雑 誌・論 文 誌 収 入	0	80,500	80,500
頒 布 収 入	0	37,300	37,300
広 告 収 入	0	43,200	43,200
図 書 収 入	0	48,600	48,600
名 簿 収 入	12,000	0	12,000
調 査 収 入	53,000	0	53,000
雑 収 入	800	800	1,600
利 子 収 入	23,000	0	23,000
補 助 金	2,900	0	2,900
資 金 利 子 繰 入 金	1,500	0	1,500
特 別 会 計 繰 入 金	5,000	0	5,000
特 別 積 立 金 繰 入	4,300	0	4,300
合 計	190,220	273,280	463,500

支 出 の 部

科 目	公 益 会 計	収 益 会 計	合 計
事 務 所 費	10,620	15,280	25,900
事 務 費	12,420	17,880	30,300
人 件 費	59,550	78,450	138,000
諸 会 費	400	0	400
支 部 費	16,800	0	16,800
賞 金 費	4,200	0	4,200
名 簿 出 版 費	12,000	0	12,000
電 気 規 格 調 査 会 費	12,100	0	12,100
調 査 研 究 委 員 会 費	60,800	0	60,800
連 合 調 査 費	800	0	800
雑 誌・論 文 誌 出 版 費	0	128,700	128,700
図 書 出 版 費	0	31,300	31,300
予 備 費	530	1,670	2,200
合 計	190,220	273,280	463,500

通信教育会予算(案)

収入の部

科 目	公益会計	収益会計	合 計
講 座 収 入	8,775	0	8,775
図 書 頒 布 収 入	0	149,680	149,680
受 取 利 息 等	200	600	800
合 計	8,975	150,280	159,255

支出の部

科 目	公益会計	収益会計	合 計
教 務 費	4,971	0	4,971
図 書 出 版 費	0	72,070	72,070
販 売 直 接 費	0	5,774	5,774
人 件 費	4,066	50,883	54,949
事 務 費	292	5,023	5,315
事 務 所 費	404	6,942	7,346
調 査 宣 伝 費	323	5,547	5,870
線 入 金 費	0	1,267	1,267
予 備 費	93	1,600	1,693
合 計	10,149	149,106	159,255